



清風

南砺市立上平小学校
学校だより
令和3年6月
上平小学校ホームページ
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp>

ポイントは心と体の健康

校長 林 秀次

一人一台端末が導入され、授業の中での活用も始まり出しました。2年生の国語の授業では、本文に色分けした線を引きながら、文章を読み取っています。5・6年生の図画工作科の授業では、一人一人が図形を使っていろいろな色でイメージを表し、発想を広げています。思考を深める面で、また、自分の思いをより適切に表現する面でICTの活用は大きな効果を生み出します。そして、子供たちは一生涯にわたってICTを賢く使うことで多くの恩恵を受け取っていくことになります。

しかしながら、ネット依存・視力低下等の身体や生活への影響、ネットを介した加害・被害等もたくさん取りざたされており、不安も大きいものがあります。

私たちは小さい頃から「人に言われて（されて）嫌なことは人に言わない（しない）。」ということを教えられてきました。ネットでも同じですが、そこにも落とし穴があります。私たちは、相手の言葉について、相手の表情や抑揚でその意味を的確にとらえてきました。しかし、文字だけで表現するネットの中では、捉え方、感じ方はその人によってまちまちになります。そのため被害者となるだけでなく、全く悪意がなくても加害者となってしまうこともあります。

本校では、本年度以下の2点を大切にしていきます。

- ①日常生活上のモラルを高めること、ネット上のモラルや使用時間について考える学習等について計画的に取り組むこと。
 - ②ICT機器や本・ノートを目から30cm以上離す、20分間近くを見続けていたら20秒間遠いところ（6m以上）を見る、という取り組みを行うこと。
- この2つを保護者の皆様とともに学びながら進めていきたいと考えています。



ICT活用

情報教育担当 嶋田 光亨

本校では、文部科学省が進めるGIGAスクール構想を受け、一人一台端末環境が早期に実現しました。今年度は、それを背景として「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書普及促進事業」が実施されています。平たく言えば、子供たちが持つ国語科の教科書と同じものがタブレット端末の中に入っているというわけです。

今、この紙面を手にとって読んでくださっている方の中に、子供の頃、教科書に直接書き込むことに抵抗があったという方はいらっしゃいませんか。これからはどんどん書きこめます。たとえ間違っても、ボタン一つですぐにやり直せます。思い切って自分の思いを表現することができるのです。

ICTを活用した学びの出発点として、学習者用デジタル教科書は必須とも言うべきものであると考えます。その一方で、チョークと黒板、鉛筆とノートといったアナログの道具、何よりも友達との関わりをこれからも大切にしながら、よりよい学習を行えるよう取り組んでいきたいと考えています。



一人一台端末を活用する子供たち